

地域	区分	避難所	所在地	電話番号	その他の役割
			第1次避難所における対象町内地域		
下羽栗地域	第1次避難所	下羽栗小学校	中野227	387-3123	障がい児・者の方の避難スペースを確保
			下羽栗地域全域		
		総合会館	中野229	387-8432	
			円城寺、中野、無動寺		
		スポーツ交流館	江川116	387-8052	
			江川、米野		
	第2次避難所	下羽栗会館	中野317	387-2360	一時集積配分拠点
		下羽栗保育所	無動寺228	387-2496	
		円城寺集会場	円城寺1471		
		米野会館	米野480		

※各町内指定の退避場所については、地域での自主防災訓練へ参加されるなど、ご確認ください。

地震など災害が発生したら、まずは各町内指定の「退避場所」へ避難、そして安否確認を!

各町内会において、地震などの災害が発生した場合、最初に避難する場所として、各町内の広場や公園などが、「退避場所」として指定されています。この退避場所で、最初に安否確認をしていただき、「第1次避難所」に避難していただくことになります。

なお、水害などにより、避難指示・避難勧告が発令された場合には、最初から「第1次避難所」へ避難していただくこともあります。

「自分の命は、自分で守る」という精神のもと、発災後3日間は自力でしのげるよう、日ごろから食料品や飲料水など非常備蓄品を準備しておきましょう!

笠松町老人福祉計画・第5期介護保険事業計画を策定

町では、平成24年度から26年度までの3年間で期間とする「笠松町老人福祉計画・第5期介護保険事業計画」を策定しました。

この計画では、高齢者一人ひとりが、いつまでも健康で、自らの能力を発揮し、活動的な毎日を送れるように、お互いに支え合い結びあう町民協働による共生社会を目指しています。

また、認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた自宅や地域で、必要なケアを受けながら、価値観や生き方が尊重される自分らしい心豊かな人生を送ることができるよう、共に支え合い、心が通い合う地域づくりを目指しています。

計画では、介護が必要な状態にならないよう予防する介護予防事業などの高齢者福祉施策や、適切な介護サービスの円滑な実施などについて、5つの基本目標を掲げ、目標に応じた施策に取り組みます。

【基本理念】

高齢者の人権と自立が尊重され、みんなで支え合いながら、住み慣れた地域で、健康で生きいきとその人らしく安心して暮らせる社会の実現

【5つの基本目標】

- 1 活動的で活力あふれる高齢社会の実現
- 2 生涯を通じた健康づくりと総合的な介護予防の推進
- 3 身近な地域における自立生活支援
- 4 人間としての尊厳の保持と住み慣れた地域に暮らす権利の保障
- 5 介護保険事業の適切な運用と制度の円滑な実施

※計画は、町ホームページや、役場1階ロビー、福祉健康センターで閲覧できます。

【問合先】福祉健康課

